

教育 おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(410)

◆備えあれば憂いなし

町では、昨年度から『防災教育実践的安全教育支援事業』を行っています。その一環として、5月24日(水)、津波を想定した地震に対する避難訓練が大崎中学校にて実施されました。避難訓練には、鹿児島大学大学院の井村隆介准教授をはじめ鹿児島地方気象台の方々が来校されました。

訓練では、緊急地震速報の放送後、生徒たちは一斉に机の下に避難し、津波の発生に備え、速やかに校庭に避難することができました。

その後、体育館において井村准教授による講演が行われました。講演では、歴史の記録から見た地震や地震のメカニズム、避難訓練をすることの大切さなどを話していただきました。



▲大崎中学校の避難風景

◆第1回幼保小連携推進委員会を開催

5月30日(火)、町中央公民館にて、園児・幼児の円滑な小学校入学を目的に標記の会が開催されました。

町内の各小学校長、幼稚園・保育園の園長や先生方、保健師が参加し、情報交換や共有を行いました。

多くの小学校の1年生に、授業中落ち着いて座ってられない、話が聞けないなどのいわゆる『小1問題(小1プロブレム)』といわれる状態が見られます。この解消に向け、幼・保・小が連携を強化する機会になりました。

第2回目以降は小学校ごとに開催し、園児や幼児、小学校の実態に応じた情報交換が行われることとなります。



▲幼保小連携推進委員会

僕の夢 私の夢

『十年後、だれもがあこがれる教師に』

No.25 中沖小学校 6年 石峯 七奈子

私の将来の夢は、子どもたちの心の支えとなる教師になることだ。私はこれまで、不安だったことや、くじけそうになったことが色々あった。中でも、一番心に残っていることは、一年生の水泳学習のとき、水がこわくて、一人だけプールに入れずにいた。そんな自分が、本当にくやしかった。何度も入ろうとちよう戦したが、こわさの方が大きくて、なかなか入ることができなかった。その時に、たくさんの先生方から、やさしく心強い言葉をかけてもらい、水の中に入ることができた。それからは、苦手なことも少しずつできるようになり、今では、何事にも自信を持って取り組めるようになった。

六年生になり、今までの自分を振り返ってみて、私は、一人一人の個性を理解し、自信を持てるように教えてあげられる教師になりたいと思った。

将来の夢をかなえるためには、勉強をがんばることはもちろんのこと、スポーツもがんばりながら、色々なことにちよう戦して、子どもたちにたくさん話せるような経験をしていきたい。また、困っている人がいたら助けたり、支えたりできる強い心を持てるように努力していきたいと思う。

十年後、だれもがあこがれる教師になるために。